

# 県議選、初の公開討論会



首をかしげながら○×カードを使って意思表示

## 東三河合併、6氏が賛成

### 告示まで1週間 子育て・教育違い出ず

今月30日の県議選告示まであと1週間に迫った23日夜、豊橋市選挙区(定数5)初となる立候補予定者公開討論会が市公会堂で開かれた。現職4人、新人4人の計8人全員が出席し、約300人が聞いた。自己紹介を兼ね立候補の動機について語り、子育て・教育、東三河の将来ビジョン、政策提言の3つのテーマについて○×式質問、意見発表、自由討論を行った。リンカーン・フォーラム中部の児玉克哉代表(三重大学教授)がコーディネーターを務めた。

子育て・教育問題は8氏8様。ゆとり教育には多く見直し論を述べ、違いが鮮明にならなかった。東三河の将来問題では、○×式質問で、豊橋勤労福祉会館の施設存続について小久保、鈴木、渡会の3氏が○×両方上げたものの、残る5氏は×。

## 統一の地方選

設置ダム建設の必要性については齋藤氏が×、かしわぐま、浅井両氏が両方。道州制の積極的な推進について齋藤氏が×、かしわぐま氏が両方。渡会氏は「設置ダム建設は賛成だ。東三河市だけでは不十分。環浜名湖市構想を」、小久保氏は

「東三河丸ごと世界の視点で。幹線道路網の整備を急ぐべきだ」。鈴木氏は「豊橋が東三河をリードしていくべきだ。湖西を含めた豊川水系を」と語り、浅井氏は「東三河プラス湖西市。地域をまとめ一体的発信を」、丹羽氏も「湖西市を含めた

東三河市合併を。政令指定都市をめざし、長所での合併を」。市川氏は「豊橋市が強いリーダーシップを発揮して豊橋、田原、湖西市を合併せよ」と語り、それぞれ道州制・合併に賛成を表明した。

齋藤氏は「合併により福祉は低下する。一極集中となり格差が広がる」と反対。かしわぐま氏は道州制について「元気がでるか、行政サービス向上できるか」と質問した。

### 発言者

- かしわぐま 光代57 民現⑥
- 小久保 三夫65 自現③
- 鈴木 孝昌62 自現②
- 渡会 克明54 公現②
- 浅井 由崇45 民新
- 齋藤 啓35 共新
- 市川 健吾65 無新
- 丹羽 洋章38 無新

は「豊橋三ヶ日道路の具体化を」。小久保氏は「水と港と入づくりを進める。特に豊川用水の事業、かしわぐま氏は「ガチンコ勝負の知事選で県議会に緊張感が出た」と語り、8氏とも意欲的に政策を訴えた。

上につながるか、意識統一が必要だ」と述べ、慎重な姿勢を示した。政策提言でも、3氏が豊橋勤福会館問題に触れた。浅井氏が「一律でなく地域の実情に合わせるべき」、丹羽氏は「文化施設として残すべき」、齋藤氏も「ぜひ継続すべきだ」。道路整備についても道州制・合併に賛成した5氏が賛成の立場を取り「生活道路、産業道路を精査し、優先順位をつけて進めるべきだ」。齋藤氏は「山の中にコンクリートのかたまりを造る必要があるか」とダム反対。市川氏は「コンパクトシティでまちづくり再生を」。渡会氏は「子育てなど多機能5項目を実施する」、鈴木氏は「豊橋三ヶ日道路